



2024年1月12日

踏切と～まれ！

「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では本格的な厳寒季を迎えるにあたり、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中は、駅コンコース等で「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めてまず脱出」、また「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車を止める等の適切な措置」を呼びかけます。



《今年度冬の踏切キャンペーンの様子》

■実施期間

2024年1月21日(日)から1月30日(火)までの10日間

■実施内容

- ・ 駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 駅コンコース等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内での車内放送や特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ ラジオ放送による踏切キャンペーンの告知とCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ

<本年度(12月以降)の踏切事故発生状況>

今年度は12月に入りすでに4件発生し、そのうち3件が踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故となっています。

- ・ 12月2日 函館線 上幌向構内第12号線踏切で凍結路面によりスリップした乗用車と衝撃
- ・ 12月11日 函館線 七飯構内鶴野道路踏切でトリコになった乗用車と衝撃
- ・ 12月13日 根室線 姉別構内姉別踏切で凍結路面によりスリップした乗用車と衝撃
- ・ 12月28日 室蘭線 沼ノ端構内拓勇通り踏切で凍結路面によりスリップした乗用車と衝撃